

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

## 2. 受付・待機場所等について

区分	受付	競技場待機場所	補助競技場	その他
競技役員	正面玄関ロビー	競技役員控室・競技審判場所のみ	利用不可	ミーティング 不可
選手	正面玄関前	メインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生	利用可	応援・付き添い 不可
観戦者(引率者)	南門	メインスタンド・芝生スタンドのみ	利用不可	

※メインスタンド裏(2F)・競技場外周に関しては、地区割をしています。テープで仕切る・シートを張る等のチームとしての場所取りや使用は禁止する。

## 3. 招集について

- (1) 招集所は雨天練習場に設置する。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	競技開始40分前	競技開始30分前
	棒高跳	競技開始70分前	競技開始60分前

### (3) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ③四種競技出場者の招集については、(3)の①に従って同様の点呼を受ける。
- ④競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔TR39.10〕
- ⑤多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトした用紙を使用し、競技者係に提出すること。

## 4. TR5競技用靴の対応について

本大会はTR5.2 (TR5:競技用靴) を適応する。

規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

## 5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) (着順ではなく) 時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.3〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。〔TR16.8〕

- (6) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×40mmで他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所自らのレーン内に張ることが許される。〔TR24.4〕
- (7) リレー競技のリレー・チームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前（その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻）までに正式に申告しなければならない。〔TR24.11〕
- (8) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (9) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。
- (10) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (11) 競技者は助走や踏切をやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (12) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔TR25.3.3〕
- (13) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

## 6. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

## 7. 予選通過標準記録について

次のフィールド種目については、予選を行い、予選通過標準記録は次の通りとする。

共通男子 走幅跳 6m 65 (5m 75) ( ) 内の記録に達しない場合は計測しないことがある。

※予選通過標準記録・計測基準記録ともに、天候・その他の都合で変更することもある。

※予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合は、予選成績により追加補充する。同記録の競技者はTR5.22 および TR26.8 を適用する。

## 8. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走高跳	男子	1m55	1m60 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m73 以上	3 cm ずつ
	女子	1m35	1m40 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ
棒高跳	男子	2m70	2m80 ~ 3m40	20 cm ずつ	3m50 以上	10 cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男子	1m55 1m40	1m45 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m58 以上	3 cm ずつ
	女子	1m35 1m15	1m20 ~ 1m35	5 cm ずつ	1m38 以上	3 cm ずつ

①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

②ジャンプオフ（第1位決定戦）するためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmきざみとする。

〔TR26.9.4〕

## 9. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいない。

## 10. 表彰について

- (1) 各種目8位（リレー種目は3位）に入賞した学校の顧問は、中央ロビーの表彰係へ賞状を受け取りに来ること。（表彰式は行わない）
- (2) B決勝は記録挑戦のために行い、表彰の対象とはならない。

## 11. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場のみとし、駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する。
- (2) ウォーミングアップにおいて付き添いは行わず、個別で行うこと。(新型コロナウイルス感染防止対策)
- (3) 選手以外の補助競技場の利用はできない。
- (4) ハードル練習については、開門時刻～8:45までとする。  
※個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (5) 投てき練習は、補助競技場内の投てき練習場で行い、メディシンボールの使用のみ認める。

## 12. 競技場使用について

- (1) ADカードをつけていない者は、競技場および補助競技場に立ち入ることができない。
- (2) 待機場所はメインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生を使用すること。ただし、地区割しているメインスタンド裏(2F)、競技場外周に関しては、テープで仕切る・シートを張る等のチームとしての場所取りや使用は禁止する。
- (3) 待機場所では、必ずマスクの着用とフィジカルディスタンスを確保すること。また、スタンド席は必ず1席以上空けて使用すること。
- (4) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、声を出しての応援は禁止する。
- (6) 選手・役員以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (7) 本部前の通行は一切禁止する。スタンド内(建物内)通路に関しては、トイレと更衣室の利用時のみ可とする。
- (8) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各校で持って持ち帰ること。
- (9) 選手が競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子機器の使用・撮影を行わないこと。
- (10) 更衣室の利用は女子選手のみとし、更衣が終われば速やかに退出すること。

## 13. 競技による入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い、入退場すること。
- (2) 競技終了後、手指の消毒をすること。

## 14. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 各自の出場種目の2時間前を目安に来場し、競技を終えた者は速やかに帰路につくこと。
- (3) 表彰式は行わない。顧問が直接、表彰係まで受け取りに来ること。
- (4) 各校、ミーティングは行わないこととし、後日学校で行うこと。
- (5) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (6) 主催者側でも消毒液等は準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (7) 選手は招集時、また競技以外の場面では必ずマスクを着用すること。
- (8) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マーシャルが競技場内やその周辺を巡回する。  
注意に従わない場合は退場していただく場合がある。
- (9) リザルトはすべてWEBに掲載する。
- (10) 本大会において標準記録を突破した選手は、第49回全日本中学校陸上競技選手権大会(福島)に出場できるため、資格を得た選手の顧問は、競技会終了後の全国大会出場者打ち合わせ会に出席し手続きすること。
- (11) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (12) 競技場内での置引きや盗難、また駐車場での事故・盗難等のトラブルにつきましては一切責任を負いません。